

大阪府議会
9月定例会

21世紀の新しい府政をめざして!

安全・安心・元気な大阪づくりに向け、新行財政計画を議論

＜右肩上がり時代の府政から21世紀型府政へ＞
国や自治体は、戦後右肩上がりの経済成長の中で、それに伴う豊富な税収を活かし、まちづくりや福祉、医療などのサービス提供や施設づくりを行ってきた。しかし、今後、右肩上がりの経済成長は望まぬ、大阪府においても、限られた財源のもとで、府民の安全・安心を守り、大阪の活力を生み出すためには、それにふさわしい施策・スリムな組織へと、府政の構造改革が求められています。

＜再建団体転落への危機を克服＞

また、府はこれまで、民間企業の倒産にあたる財政再建団体に転落する危機に直面しています。再建団体になると、府が独自に行っている私学助成や福祉医療費の助成をさらに縮小したり、道路や河川の改修、歩道整備や府立高校の改築などが滞ったり、府民の暮らしに関わる多くの事業が行えなくなります。府が自治体としての責務を果たすためには、再建団体転落への危機を克服し、府政の構造改革で、財政再建の道筋をつけなければなりません。

その改革を進めるため、知事より「行財政計画(案)」が提出されました。

詳細については、この「計画(案)」によって府民生活に多大な影響がないのかどうか。セーネットをどうするかなど。来年度の予算を審議する来年の2月議会に向け、府民の立場にたつて、真剣な議論をしてまいります。

泉北1号線・「深井駅前北」交差点の立体交差が実現します。

泉北1号線の交通渋滞を解消するため、西村議員は平成7年2月の府議会定例会で、「深井駅前北」交差点と「北条町一」交差点間の道路拡幅を要望。平成9年度に拡幅が完成し、交通渋滞も解消されましたが、その後リブエール和泉の本格オープンなどにより、近年、さらに交通量が増大し、特に「深井駅前北」交差点は右左折車の進入出により、交通渋滞がますます深刻な状況となっています。

このたび、立体交差化が決定し、今年度には各種調査や関係機関との協議、調整。来年度は詳細設計、一部工事着を行うこととなりました。

現在の泉北1号線・泉ヶ丘方面からの高架道路を深井小学校東側部分まで延長し、「深井駅前北交差点」を立体交差するものです。

